

📄 ポスター発表会開催

9 月 14 日にゼミ毎のポスター発表会があった。
 今までの中間発表、そして 7 月の東京研修で得たヒントから、各班研究が進んだ。
 各ゼミの発表の様子（感想）はどうだったのだろうか。



1,発表会当日の様子

	物 理	化 学	生 物	地 学	数 学	情 報	国 語	地 歴	公 民	英 語	保 健	音 楽	家 庭	災 害
発表時間(分)	8	10	5	5	10	10	10	7	8	7	10	14	10	7
質問時間(分)	7	10	3	10	10	5	5	4	8	4	5	15	5	4

【発表形式】

(紙ポスター発表)

- ・化学
- ・地学
- ・数学
- ・国語
- ・地歴
- ・公民
- ・英語
- ・保体
- ・音楽
- ・家庭
- ・災害

(ポスター投影発表)

- ・物理
- ・生物
- ・情報

上の 2 つのデータから、多くのゼミグループがそれぞれの発表形式を適切に利用した発表会とすることができたようだ。

例えば、生物ゼミでは発表会前に資料を渡しておくことで、当日の理解を深めることができたといった発表を有意義にする工夫が見られた。

今回の発表会は一年生も参加した為、一年生にどのように専門的な内容を伝えるかが大きな焦点となったゼミが多かった。

2, 発表会での問題点 (全体の傾向)

一、班によって進捗状況に大きな違いがあった

この問題は、いくつかのゼミで見られた。結論まで至っていない班や、発表直前に原稿を作成している班がある等順調に進行している班との差が浮き彫りとなった。

12月20日にはゼミ毎発表がある。前もって予定を立てて研究を進めて欲しい。

二、質問があまり活発ではない

この問題も、いくつかのゼミで見られた。活発なゼミと不活発なゼミとの差があったようだ。2, 3人くらいしか手が挙がらなかったゼミもあれば、1年生の方が2年生より質問しているというゼミもあった。

質問は必ずしなければならないものではないが、自分の意見を言う等活発なゼミ発表の雰囲気作りに協力することも立派なゼミ活動だと思う。

3, アドバイス

各ゼミでは多くのアドバイスが生徒や先生からもらったそうだ。

- 〈例〉・行っている研究が今後何に役に立つか考えた方がいい (国語ゼミ・担当者)
- ・オリジナリティーと既存の内容との差別化をしっかりと図る (公民ゼミ・担当者)
 - ・ポスター製作 (内容向上)・結論の根拠 (生物ゼミ・担当者) (化学ゼミ・生徒)



編集後記

自分たちの学んだことを発表し、それを共有することで、新たな疑問や解決策が生まれてくる。お互いの問題意識の質の向上がこの学術研究では見られることが分かった。

今後、様々な人に発表する機会が増えてくる。その時に、自分たちの研究成果を胸を張って発表し、そこでまた指摘を頂戴する。そのサイクルで「学術を通して大切なことを学ぶことができた。」という意志を持たたらそれは素晴らしいことだと思った。(文責：津田)